

CO₂削減に向けた北海道環境イニシアティブの発揮

【戦略的目標『森と水の豊かな北の大地』・『地域力ある北の広域分散型社会』への対応】

『森と水の豊かな北の大地』では、北海道に豊富に存在する自然エネルギー源など地域資源を「これらの資源を活用して、環境負荷の少ないエネルギーを積極的に導入することで、CO₂排出量の削減を図り、地球環境負荷の低減に向けた先駆的・先導的な役割を果たす必要がある。」とされており、またその進め方として「新たな環境イニシアティブの発揮」を掲げ、「他地域にも共通する課題に対する北海道の特性を活かした先駆的・実験的取組を、積極的に推進する」としている。

また、『地域力ある北の広域分散型社会』では、「優れた特色ある地域資源を活かした地域づくりを進める。」とされており、道内各地域の気候・産業・地理的条件や再生可能エネルギーの利活用環境等を踏まえ、地域性を活かし、CO₂の削減に向けた取組を推進する。

「戦略的取組」
を取り巻く
現状・課題

- ・ 積雪寒冷・広域分散という気候・地理的条件により、民生用エネルギーの消費が大きい
- ・ 北海道は再生可能エネルギー源が豊富に存在しており、その積極的な活用を図る
- ・ 豊富に存在する森林等北海道の特徴を活かしたCO₂吸収の先導的取組を進める

具体的
戦略

効率的なエネルギー
消費社会の実現

地球環境負荷の少ない
エネルギーの利活用促進

温室効果ガス吸収源対策
の推進

検討項目

- ・ 効率的なエネルギー利用に資する技術や設備導入等を促進
- ・ 都市部における地域熱供給やコージェネレーション（熱電供給）の導入を促進
- ・ 環境負荷の少ない交通体系の構築

- ・ 風力、太陽光、雪氷冷熱、バイオマス等の再生可能エネルギー源の利用の多様化を促進
- ・ 再生可能エネルギーの地産地消を促進
- ・ 未利用エネルギー等の活用に必要な技術開発と利用を促進

- ・ 緑地や森林の適切な整備・保全
- ・ 地域住民等との連携の推進

施策
群

環境負荷の少ない都心構築
の推進

船舶版アイドリングストップ

雪氷冷熱利用の推進

苫小牧東部地域における
CO₂削減に資する産業展開
の推進

CO₂の吸収等森林の有する多
面的機能の持続的な発揮に向
けた森林の整備・保全の推進

工事実施段階におけるCO₂
削減（IC・コンストラクション）

積雪寒冷地におけるLED照明
の導入（IC・コンストラクション）

環境未来都市の推進

官民連携による「シーニック
の森づくり」の推進

豊かな自然環境を保全し
引き継ぐ、北海道の森づくり

環境に配慮した公営住宅等
整備推進

コンパクトシティ施策の推進

廃棄物の資源・エネルギー化の推進

公共交通や自転車等による
モビリティ環境の改善

施策群の連携機関：北海道、市町村、民間団体 等

日本再興戦略との対応：立地競争力の更なる強化 等